

市政を問う!!

一般質問の要旨

質問者

永井泰仁

山口恵子

柴田博

古畑秀夫

金子勝寿

※本文は質問者自身の原稿によるものです

子育ては社会全体で



◆第1回塩尻ぶどうの郷ロイドレースの総括

問 参加者の感想を踏まえた反省点や改善点の今後の対応は。(永井)

答 大会の趣旨である、元気な塩尻を発信し、健康体づくりと、市の活性化の一助となる目的は、達成できた。反省点は、運営・参加双方の意見を集約して、実行委員会で検討する。改善点は、プログラム冊子へコース図の掲載、1km毎の距離表示、表彰台の位置変更、案内板のサイン表示、告知看板の増設等は、次回に即対応する。

問 子育て支援のために児童館の整備計画は。(古畑)

答 小学校区単位の整備を計画している。

問 午前中の利用拡大や中高生の居場所作り、手狭な施設の整備の改善を図りたい。(古畑)

答 ◆子育て家庭の応援を(古畑)

問 子育ては経済的に負担が

多い。社会全体で取り組む必要があるが対策は。(山口)

答 平成22年春から18歳未満の子育て家庭に対して優待パスポートを交付し、県内の協賛店で割引等のサービスが受けられる予定。

問 ◆図書館のめざす将来像は従来との違いは何か。(山口)

答 児童書と文芸書の占める割合が高い教養重視型から、ビジネス・子育て・医療・健康・法務等に関する情報や、地域資料を充実して、広範な生活課題の解決に役立つ資料を集め市民に情報を提供する。◆子ども手当創設に伴う扶養控除廃止の影響は

問 子ども手当の恩恵を受けず増税となる世帯が多い。さらに所得税、住民税が増額することで利用者の負担増となること

所得から差し引かれる					
生命保険料控除	(8)				
地震保険料控除	(9)				
寡婦、寡夫控除	(10)	0	0	0	0
勤労学生、障害者控除	(11)	0	0	0	0
配偶者控除	(12)	0	0	0	0
配偶者特別控除	(13)	0	0	0	0
扶養控除	(14)	0	0	0	0
基礎控除	(15)	0	0	0	0
⑧から⑮までの計	(16)	0	0	0	0

扶養控除廃止により、様々なサービス利用への影響が予想される



市保健師によるすくすく子ども相談の様子

る事業などは。(山口)

答 現段階では保育料、介護保険料、国民健康保険医療費、福祉医療費、市営住宅使用料などがあり、幼稚園就園奨励費、高齢者タクシー利用助成などにも影響が予想される。◆福祉医療費の対象拡大を

問 安心して医療を受けるため乳幼児の対象拡大は必要である。今後の方針は。(山口)

答 平成22年4月から入院通院ともに小学6年生まで拡大のため財源の確保を検討中。

◆制度廃止についての考えは

問 後期高齢者医療制度の廃止について政府は先送りの姿勢である。いろいろ改善することはできても、75歳以上という年齢で人を差別することについては制度廃止以外に方法はないと考える。市長の考えはどうか。(柴田)